

通学路に立ち、
登校中の子供た
ちに「おはよう」
と声をかける石
黒さん。

ふるさと 顔の

No.404

子供たちの
元気なあいさつが
『すきやき隊』活動の
活力になる

「おはよう」という声かけに「おはようございますー」と子供たちから元気なあいさつが返ってくる。毎朝、登校中の子供たちに元気良く声をかけるのは、『新得すきやき隊』の目配り隊員として、通学路に立ち、子どもたちの安全を見守り続ける石黒一雄さん。

雨の日も雪の日も毎朝、子供たちの通学路に立っている石黒さんは「自分が小学生の頃は、まだここに道が無く一面が畑で、駅裏にあった国鉄機関区の前道路を通って遠回りして小学校に通うしかなかったんだよね。でも、たまに近道するのには畑の中を横断して行ったこともあったなあ」と子供たちを見ながら懐かしそうに話した。

新得高校卒業後、大学に進学のため上京し、就職したが、その会社が倒産したため、地元にある会社とを考え、池内ベニヤに就職した。

「入社する際、新得の工場が再



かずお 一雄さん
(64歳)
西栄会
いしぐろ 石黒

開するということと就職を決めたんだね。結局、再開しなかったんだよね。それで本社のある静内町の工場に勤務することになったさ。会社を定年になるまでずっと静内町に住んでいたのさ」と話す。

4年前に定年退職し、40数年ぶりに新得に戻ってきた。

「父親が亡くなるまで、やすらぎ荘でお世話になってただけで、元来、父親は寂しがり屋なところがあったさ。だから、自分が毎週のように土日は静内町から新得に帰ってきたんだよね。こちらに仕事があれば良かったんだけど無かったし、向こうの仕事は辞める訳にもいかなかったしね」と話す。

写真を撮ったり、油絵を描いたりするのが好きで、美術館などにも足を運ぶと言った。「高校生の時に油絵を始めて大学生まで描いていたんだけど、就職してからやらなくなっちゃった。退職してからまた始めたけど、何十年も描いてなかったから、なかなか上手く描けないし、他の人に見せられるような出来栄の作品じゃないから、描き終わったら自分で見えて楽しんでいるよ」と笑いながら話

短歌

新得短歌会

人知れず静かに咲く花凛として
自分のために生きていくだけ
岡田御狸裸

細き茎にむらさきの小花あまたつけ
ラベンダーの花揺れて香れり
高橋 幸子

初夏の風吹かれて午後の音楽会
緑の木立夢のひと時
菊地 康雄

そよ風が鳴らす風鈴亡きひとの
買ひし想ひがめぐる刹那に
齊藤美代子

行灯にからむ熱気を引剥げ声
高らかに張り練り歩く宵
樋口かおり

屈足短歌会

留守宅の紫陽花のはな冴えて
滴ゆらしつ初夏の夕ぐれ
船場 君子

鎌を研ぐ術など知りて草を刈る
それも喜び隣地の境
渡辺 征子

真青なる東の空に浮雲の
形くずさず果てなく続く
羽場タカ子

俳句

新得俳句同好会

初もぎの曲りきゅうりの歯切れよし
八木 育子

胡瓜もみ見合いの妻と共に老い
袴田ゆき男

なつかしき屋号入りたる古団扇
西川 勝仙

戦争を知らぬ学童夏の雨
月井 愁峰

目薬の一滴焦げる空がある
高橋 民女

石南花の誇らしく咲く狭庭かな
齊藤 青苔

香り割く臨時列車にラベンダー
大崎かずお

村の間幾何学模様の星涼し
中島 土方

町長室から こんにちは

新得町長 浜田正利

先月号に引き続き今月号も、今後の動きについて強い期待を持って紹介することをご紹介します。

1点目は、7月17日に北海道消防学校（江別市）において北海道消防操法訓練大会が開催され「屈足消防団（若原出場隊隊長他5名）」が十勝代表として平成11年以来16年ぶりの出場になりました。炎天下の中、全道から12チームが参加し、屈足消防団は3番目に登場。全体を通して来賓席の中では評判が良く、期待を込めて結果を待ちましたが残念ながら6位でした。春先から訓練を重ね、仕上がりも良かったこともあり、不本意な結果に団員からは悔しさがにじみ出ていました。そんな悔しがる姿が、地域の人口減の中でも、これからの屈足消防団活動には何も不安の無い、期待の持てる消防団に写り、今後の活躍を強く感じたところです。



2点目は、7月19日に農業研修施設「レディースファームスクール」の設立20周年記念イベント「ありがとう！20周年だべさ」が開催されました。同スクールは平成8年8月2日、全国発の女性専用農業研修施設としてスタートしました。昨年度の19期生までに長期生161名が修了、短期研修生は33名の受け入れをしてきました。そのうち41名が町内、47名が道内に在住しています。20周年を迎えられたのは、研修生自身の頑張りはもちろんですが、研修生を受け入れていただいた農家の皆さん、地域、関係機関の相互の支え合いがあればこそ考えており、改めて感謝申し上げます。スクール、そして研修生の存在は町の宝と考えていますので、町民の皆さんには、これからもスクール運営に特段のご協力をお願いするとともに、修了生は農業の応援団として今まで以上のご協力をお願いいたします。

3点目は、新得町が抱える課題の一つに、街中の賑わいを再生するための駅前再整備構想の検討を進めています。一つの方策として、昨年からお付き合いのありました法政大学（網野研究室）の若者の客観的視点からのご意見をお願いしました。7月26日に網野教授と学生2名が来町され、春先からの町民のみなさんとの懇談を踏まえた提言をいただきました。この提言を参考にしながら再整備に向けた素案をみなさんにお示しをしていきたいと思っています。

す。

『新得すきやき隊』は、町民のボランティアによる声かけや見守り、子育てをサポートする組織として、平成18年2月に発足した。

「すきやき隊の活動を始めたのは昔からの近所の知り合いに、退職して時間があるだろうから、やってみないか？って誘われてね。もう4年くらいやってるのかな。最初はこんなに続けられるとは思っていなかったよ（笑）。自主的に立ち上がった組織なので活動はあくまでもボランティア。継続していくのが一番大事だよね」と話す。

「おはよう」と言ったら、元気良く『おはよう』って返ってくるし、子供たちはみんな礼儀正しいよ。髪を切ったりした後には、子供たちから『髪切ったね』とか話かけられたりするしね。そんな些細なことでもこつた活動の励みになっているよ。体が続く限りは続けていきたいかな」とこやかに話す。

「今、すきやき隊のメンバーもだんだん高齢になってきて、活動できる方が少なくなってきたので、そこがちょっと心配ですね。子供たちのために少しでも力を貸してくれるメンバーを募集しています」と話す。

この活動に興味のある方は、役場児童保育課（子どもセンター）なにかよし内64-6940（まで）連絡を。